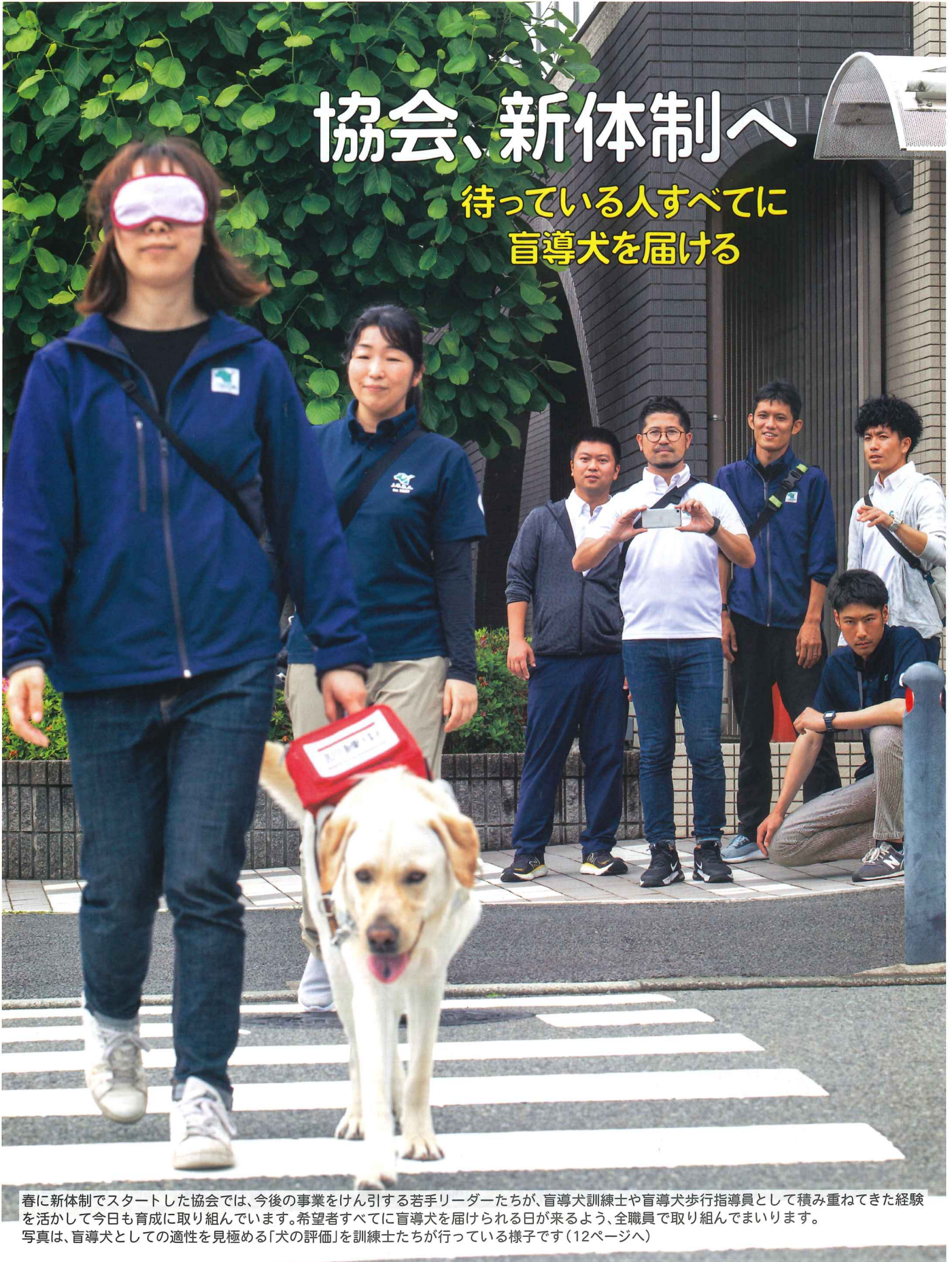




みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

盲導犬くらぶ

公益財団法人 日本盲導犬協会
発行人 金高 雅仁
223-0056 横浜市港北区
新吉田町6001-9
TEL.045-590-1595
FAX.045-590-1599
<https://www.moudouken.net/>



協会、新体制へ

待っている人すべてに
盲導犬を届ける

春に新体制でスタートした協会では、今後の事業をけん引する若手リーダーたちが、盲導犬訓練士や盲導犬歩行指導員として積み重ねてきた経験を活かして今日も育成に取り組んでいます。希望者すべてに盲導犬を届けられる日が来るよう、全職員で取り組んでまいります。写真は、盲導犬としての適性を見極める「犬の評価」を訓練士たちが行っている様子です(12ページへ)

新理事体制のご報告

6月に協会理事の改選が行われ、新たな役員体制が決まりました。ご報告申し上げます。

理事長 金高 雅仁	常任理事 勅使川原 直彦	理事 井上 賢治	理事 天間 勝治
副理事長 田上 静之	常任理事 高野 秀一	理事 小田 浩一	理事 平野 啓子
専務理事 山口 義之	理事 青山 真穂	理事 志賀 こす江	

(敬称略)

退任された理事は以下の方です。長きにわたり協会運営にご尽力賜りましたことに心より御礼申し上げます。

井上 幸彦 様 植野 寿憲 様 多和田 悟 様 松浪 芳郎 様 土田 智子 様

井上幸彦前理事長は、このたび会長に就任いたしました。

また、評議員の塚田哲也様が退任され、新たに安永亘之様が評議員となりました。

新体制のもと、引き続き役職員一丸となり、視覚障害者福祉の発展のために努力してまいります。

今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業の更なる発展に努力します

公益財団法人日本盲導犬協会の理事長に就任いたしました金高雅仁でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、前任の井上幸彦理事長と同様、長年警察で国民の生命、身体、財産を守る仕事に従事し、最後は、警察庁長官を務めました。この度、視覚障害者の社会参加の促進とそれを支える盲導犬の育成普及を目指す当協会の業務運営に携わることとなり、大変光栄に存じますとともに、責任の重大さを痛感しております。

当協会は、井上前理事長が就任した2003年には、職員は約40人、事務所が1か所、訓練センターは2か所、年間の盲導犬育成頭数は21頭、実働犬数は99頭でありました。それが、前理事長の強力なリーダーシップと役員職員の献身的な努力により、2023年には職員数が約120人、事務所が2か所、訓練センターが4か所に増え、年間の育成数は34頭、実働盲導犬数は234頭となるなど、大

きく成長、発展しました。また、この間、訓練士学校を創設し、富士ハーネスを開設し、島根あさひ盲導犬パイププロジェクトを開始し、内外の団体や大学等との連携を深めて、今の協会の礎が築かれたのであります。その後を担うのは誠に重責であります。現在の事業をしっかりと引き継ぎ、更に発展させるべく、みなさまのご協力を頂きながら誠心誠意努力してまいり所存でございます。どうかよろしくお願い申し上げます。



公益財団法人日本盲導犬協会 理事長 金高 雅仁 (元警察庁長官) 1978年警察庁入庁。警視庁刑事部長、警察庁刑事局長、官房長等を経て第25代警察庁長官

各センター活動報告(4月~6月)

(2024年6月30日現在)

		神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	6回	3回	1回	2回
	バビークチャー	24回	9回	9回	5回
	バビークーキング修了式	2回	1回	2回	1回
	ユーザーフォローアップ	64回	45回	21回	28回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	11回	7回	2回	2回
リハビリテーション	各種オンラインセミナー	3回			
	短期リハビリテーション	0回	1回	0回	0回
	その他リハビリテーション	173回(145人)	265回(179人)	66回(58人)	43回(24人)
普及推進活動	受け入れセミナー	14回	4回	13回	1回
	小・中学生向け実演	5回	9回	2回	8回
	一般向け実演・贈呈式・募金活動等	39回	27回	33回	27回

TOPICS!

主なできごとのからピックアップ

白杖歩行の専門家と連携し盲導犬ユーザーの裾野を広げる 歩行訓練事業への助成金交付~公募受付を開始

協 会では新たに「歩行訓練事業助成金交付」事業を開始することとなりました。将来盲導犬を使用することで更なる社会参加と自立促進が期待される視覚障害者に、白杖等の歩行訓練を行う事業者を後押しするものです。これに先立ち、7月から2025年度助成金の公募申請受付を開始しました。

人生半ばで視覚障害が生じた人にとって、早い段階で白杖歩行訓練などの支援を受けることは、その後のQOLすなわち生活の質の維持につながります。しかし、そうした福祉サービスを提供する事業者の財源や人材の不足などから、歩行訓練を希望する視覚障害者へ十分な訓練が提供できていない現状があります。

盲導犬ユーザーの場合も、多くは白杖での歩行を経験した後で盲導犬取得に至っていますが、「もっと早く白杖や盲

導犬等の支援情報を知りたかった」という声が少なくありません。また、今も白杖の歩行訓練を受けられず、外出ができないでいる人もいます。

そこで協会は、必要とする視覚障害者に歩行訓練を安定的に行えるよう、白杖等の訓練事業者に対して助成金を交付することとしました。訓練を行う歩行訓練士の活動を後押しすることによって、単独で歩行できる視覚障害者が増え、盲導犬使用者の裾野が広がることも期待されます。

視覚障害者を誰一人取り残さない社会を目指して、白杖等の歩行訓練を担う専門家とより一層の連携を強めていきます。

詳しくは協会ホームページをご覧ください。

こちらから



日本盲導犬協会の歩み

- 4月19日 第1回常任理事会
- 5月14日 第2回常任理事会
- 5月22日 第1回理事会
- 6月10日 第3回常任理事会
- 6月14日 第1回評議員会、第2回理事会・評議員会合同会
- 6月27日 仙台訓練センター「盲導犬新ユニット出発式」

6月1日 イオンモール川口での「盲導犬もっと知ってキャンペーン」。ユーザーの話にたくさんのお客が足を止め聞き入りました



6月1日 J.P.モルガンの社員と関係者が富士ハーネスでボランティア活動。ユーザーの講話を通じて視覚障害への理解も深めました

6月27日 2023年度に誕生した8組のユーザーが仙台訓練センター「盲導犬新ユニット出発式」へ参加。支援者に日々の楽しみなどを語りました



6月20日 京成電鉄が船橋競馬場駅で「盲導犬ユーザー等対応講習」開催。実際の車両を使って声掛けや誘導体験を行いました

メディア掲載件数

テレビ・ラジオ	23回
新聞	34回
WEB	181回
その他(雑誌など)	13回

主な放送・掲載

- 4月1日 冊子「社会福祉 ACCESS GUIDE」(静岡県社会福祉協議会) 福祉に関する職業のひとつとして盲導犬訓練士を紹介
- 4月2日 NHK「首都圏ネットワーク」協会ユーザーが出演し、民間事業者にも義務化された合理的配慮についてコメント
- 4月23日 NHK「首都圏ネットワーク」協会職員が講師を務めた東京タクシーセンター主催の受け入れセミナーを紹介
- 4月24日 朝日新聞デジタル他WEB51件 「国際盲導犬の日」協会飼育ボランティア募集のリレー関連記事掲載
- 5月9日 Webサイト「視覚障害のいるSpotlite」(株式会社mitsuki) 協会の視覚障害サポート部の活動を紹介
- 5月14日 山陰中央新報他WEB1件 島根県内の盲導犬ユーザーと市民40人が交流会、声掛け方法など解説した件を掲載
- 5月16-17日 FNNプライムオンライン他WEB2件 JR山形駅での視覚障害者対象「安全に列車に乗るための利用講習会」を紹介
- 5月29日 毎日新聞 埼玉スタジアムでの浦和レッズ×町田ゼルビア戦で盲導犬教室開催。サポーター約150人が参加と掲載
- 5月30日 点字毎日 昨年度の協会調査結果として「協会ユーザーの4割が受け入れ拒否を経験」と掲載

スタートライン

Start Line

みなさんのご支援に支えられて新しいパートナーと出会った共同訓練卒業生たち。喜びに満ち、まさにスタートラインに立ったところ

2024年5月までの共同訓練卒業生

- 各ユーザーの紹介項目
 - ユーザー名・所在地(盲導犬歴)
 - 盲導犬名(雄♂/雌♀) 犬種
 - ①共同訓練期間
 - ②パピーウォーカー名
- 犬種記号
 - LR: ラブラドル・レトリバー
 - GR: ゴールデン・レトリバー



神奈川訓練センター

盲導犬と歩き始めたばかり 試行錯誤を重ね関係性を育む

マッサージの仕事をしている堀江さんは東京都心まで電車で通勤しています。堀江さんは幼少期に眼の病気を発症し、20代の頃から見えにくさを実感し始めました。学生時代から知人に盲導犬ユーザーが多かったこともあり、「盲導犬と一緒に早いスピードで気持ちよく歩けるんだな」「あんなふうに自信をもって歩きたい!」と盲導犬への興味を抱いてはいたものの、ずっと白杖で歩いていました。

4年前、転職をしたことをきっかけに、盲導犬を持ちたいと職場に相談したところ、前向きに受け止めてくれ、盲導犬と歩くことを決心。会社の人たちは「私たちにできることは何だろう」と盲導犬との接し方を尋ねるなど理解を示してくれました。

期待にあふれて臨んだ共同訓練が始まり、盲導犬クレバーと対面しました。しかし、犬と接することは思っていた以上に難しく、実際はうまくいかないことも多くて苦労しました。

盲導犬の役割は主に3つ、角・段差・障害物を知らせること。しかし、自宅付近の訓練では、クレバーは角では止まらず、横断歩道の車道と歩道の間にある段差でも止まらなかったのです。さらに、ずっと安定していた排泄リズムも終盤に崩れてきて、「この先もクレバーとやっていけるのか、不安で思わず涙があふれました」と堀江さん。堀江さんとクレバーに課題は残りましたが「もう少し頑張って信頼関係を築いていけば、きっと大丈夫!」と自分を鼓舞して共同訓練を終えました。

職場の様子。通勤の際、最初は駅の人ごみに戸惑っていたクレバーも今はまっすぐ歩きます。電車では「いつもお見かけしていただきありがとうございます、良い子ですね」とうれしい声掛けも



堀江 郁子さん
東京都練馬区(1頭目)
クレバー(♂)LR
①2024.2.5~3.1
②大竹 智馨子さん

↑目標は「カッコよくスマートに歩けるユニット」。クレバーが角や段差でしっかり止まって、堀江さんが指示を出し、目的地に迷わず行けるようにトライ&エラーで進んでいます

し方を改めることにしたのです。クレバーの不安な気持ちを感じ取った時には「その行動で合っているよ」と伝えるために、たくさん「グッド!」と声をかけて褒めるように。すると、クレバーは心が安定したのか、自宅付近の角や段差でしっかり止まるようになりました。

白杖で歩いていた頃はほとんどできなかった散歩も、クレバーと一緒にできるようになりました。「これからもっとクレバーのことを理解して、試行錯誤しながら信頼関係を深めていきたい」と前を向く堀江さんです。

三宅 保子さん
東京都町田市(3頭目)
ウニカ(♀)GR
①2024.3.4~3.15
②井上 麗子さん

初のゴールデン!ラブラドルと違うところがあるのかなと心配していましたが、ウニカはしっかりと私の歩行をサポートしてくれます。ワンツー場所※1にはこだわり、お気に召す場所を探すのが大変です。まあ慣れたらなんとかなるだろうと、3頭目ともなると大らかな気持ちでいることができます。今まで果たせなかった夢、パートナーとの海外旅行。ウニカとはぜひこの夢を叶えようと思います。まずはPW※2さんが住んでいるドイツかな?

※1 排泄する場所 ※2 パピーウォーカー

酒井 みどりさん
横浜市(3頭目)
オット(♂)MIXB※3
①2024.3.18~3.29
②カタリナ・リクターさん

※3 LRとスタンダード・プードルのミックスブリード

盲導犬歩行は乗馬に似ています。革製の鞍ならぬハーネスをオットさんに装着していざ出発。常歩でパカポコ緑道を行き、せせらぎの音を頼りに狙った曲がり角へ入りグッド。ジョギングの人に追い越されて速歩になる、お散歩犬に反応して速歩になる。でも大丈夫、常歩に戻してまた進む。ねこバスが木々の枝を揺さぶりながら駆け抜けたら驚が美声を磨いていたり極上の眺めがパカポコ去ってはやって来る

吉山 幸美さん
神奈川県川崎市(2頭目)
シャンティ(♀)LR
①2024.4.15~4.26
②小林 修さん

シャンティは初めてのことが少し苦手です。初めての場所ではいつもより褒めたり、体をなでたりしてリラックスできるよう心掛けて歩いています。何ごとにも全力投球のシャンティ。集中して仕事をするので、ハーネスを外すと仰向けになって体をくねらせて、終わったぞーと全身で解放感を表現します。家の中ではよく寝ています。こたつの中からイビキが聞こえることもあります。これから、旅行などを一緒に楽しみたいと思います

私の忙しい心に、ステラのゆったりした歩調は違う風を吹き込んだ。かわいい顔でひょうひょうとした不思議なオーラに包まれ、私にそっと寄り添い仕事をぬかりなくこなすステラ。私自身高齢になり、不安も増え、迷っていた盲導犬とのこれからの生活。心を決め、出会って1か月半。既に、ステラのかもしだす世界に魅せられ、また前向きになって多くの新しい事に挑戦し始め、大好きなフリーダイビングの難しい競技にも燃え始めている

浅野 麻里さん 東京都練馬区(3頭目)
ステラ(♀)LR
①2024.4.15~4.26 ②鳥海 由香さん

神奈川訓練センター

押野 まゆさん
横浜市(4頭目)
マイティ(♂)LR
①2024.5.20~5.31
②大園 治夫さん

4頭目のマイティです。3頭目との歩きで体に染みついた動きを修正するのが大変でしたが、小柄で繊細なマイティが気持ちよく仕事できるよう意識しました。ビックリ!することがあっても、すぐに切り替えて後に引かないタフな一面も。職場での待機中は私の足に顎を乗せるのが大好きで「充電してるみたい」と言われます。近く水樹奈々さんのライブで三重まで遠征予定ですが、マイティはどこでも排泄ができて旅先でも大助かり。仕事もプライベートも全力です



三輪 孝雄さん
埼玉県越谷市(2頭目)
ハッシュ(♂)LR
①2024.5.20~5.31
②長尾 浩史さん

職場まで30分の道をハッシュと毎日歩きます。分かりづらい道で迷ってしまった時、元の来た道に戻るため指示をしますが、ハッシュは素直に聞いて何度でも付き合ってくれます。家ではずっと後ろをついてきて、トイレや風呂場の前で待っている優しい子。目や鼻に入れたいくらいカワイイ! 先日はふらっと出かけ、行きつけの焼き鳥屋とラーメン屋を梯子しました。ストレスのない平和な日々で感謝。二人なら、行ったことのない道も冒険できそうです



仙台訓練センター

今井 春夫さん
新潟県三条市(3頭目)
マオリ(♂)LR
①2024.4.8~4.19
②丸橋 剛さん



自宅周辺は田んぼや柵のない川沿いの道が続きますが、マオリがしっかり道路の端に寄って歩いてくれるのでとても助かっています。分かれ道で自分の行きたい方向へ顔を向けて「こっち!」と意志を通そうとすることもあります。家では腕枕でまったりとする甘えん坊な一面も。マッサージの患者さんもマオリに会うのを楽しみにしています。月に一回は合唱の練習で新潟市内へ出かけます。巨人戦を観に二人で東京ドームへも行きたいです

島根あさひ訓練センター

5頭目となるメイジーですが、最初から歩きやすくて「今までも一緒に歩いてたっけ?」と思うほど。甘えん坊で、ベターっと体を張り付けてくる時は本当にカワイイ! ですが、突然ストライキを起こして「もう歩かん!」となることも…。うまくいかないことは山ほどあるけれどやっぱり盲導犬は楽しいです。先日はフルマラソンを走破! 大好きなライブにも二人で行ってきました。メイジーとなら全国どこのライブへも行けそうです



漢 小百合さん 福岡県北九州市(5頭目)
メイジー(♀)LR
①2024.4.11~4.25 ②吉田 薫さん

心がふれあう

Heart to Heart

視覚障害や盲導犬について理解を深め
盲導犬ユーザーが生き生きと
安心して暮らせる社会を目指して
心のバリアフリーを広げる活動を紹介します

チャリティー、募金…盲導犬と共に歩んだ年月 島根県の松江湖城ライオンズクラブ60周年の思い



支援活動のきっかけは 盲導犬クレアとの出会い

街で盲導犬を見かけることがほとんどなかった1970年代、松江湖城ライオンズクラブ(以下、松江湖城LC)が盲導犬と出会うきっかけを作ってくれたのは、全盲のマッサージ師、青木やす子さんでした。青木さんは、盲導犬の存在を知って以来、ぜひ盲導犬を持ちたいと強く願うようになっていました。彼女の願いを叶えるために東奔西走したのが当時の松江湖城LCメンバー。何度も島根から東京へ向かい、図書館で調べ、訓練士に会い、東京虎ノ門LCの協力を得ながら、青木さんの盲導犬取得をサポートしました。そして1974年、日本盲導犬協会(当時は東京小金井訓練所)が育てた盲導犬クレアが、青木さんへ手渡されました。

盲導犬育成支援を軸に 60周年記念イベント

ライオンズクラブは1917年アメリカ発祥のボランティア団体で世界に約5万クラブ、会員135万人、日本に

↑5月、出雲空港カントリー倶楽部での松江湖城ライオンズクラブ60周年記念チャリティーゴルフ大会に参加したライオンズクラブ会員のみなさんと当協会理事長ら。参加費の一部と募金箱に寄せられた善意は、翌日の式典で協会へ寄付されました

は約2,800クラブ、10万人の会員がいます(2023年時点)。毎年6月1日をヘレンケラー・デーと定め、世界中のライオンズクラブで視覚障害者支援に関わる奉仕活動が行われています。

松江湖城LCは、1970年代から盲導犬育成支援を活動の中心に据えてきました。「盲導犬育成委員」を選出し、毎年のチャリティーゴルフ、小中学校を訪問して授業を行う「盲導犬学校キャラバン」、島根のバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」の試合会場での募金活動のほか、当協会の島根あさひ訓練センターの視察、LC会報誌での支援活動の紹介など地域に根ざした活動が特徴的です。

今年5月には松江湖城LC60周年記念イベントが2日間行われました。1日目は盲導犬育成支援チャリティーゴルフ大会。松江湖城LCメンバーと協会職員が受付に立ち、募金活動を行ったところ、436人の参加者の多

くから募金が寄せられました。2日目は記念式典。244人が参加し、協会からは井上幸彦理事長(当時)、高野秀一島根あさひ訓練センター長、盲導犬ユーザー2組が、出席しました。会場には前日の募金活動の様子が写真パネル展示され、松江湖城LCの温かさが伝わってくる2日間となりました。

移りゆく時代にも 心を込めた支援を

松江湖城LCの野津廣一会長(当時)は「私どもが盲導犬の支援を始めて半世紀が経ちました。その間、社会は大きく変わってきていますが、それに伴って盲導犬に課せられる役割も大きく変わっていくと思います。これからも引き続き、視覚障害者のみなさんへ安心と便利を届けるべく頑張りたいと思っています」と語りました(「松江湖城LC認証60周年記念PV」より引用)。

60年をかけて育ててきた地域とのつながりを大切に、視覚障害者が暮らしやすい社会づくりに向けて志を新たにす松江湖城LCは、今日も心を込めて支援に取り組んでいます。



↑記念式典で、松江湖城ライオンズクラブの野津会長(左)から日本盲導犬協会の井上理事長へ寄付金目録の贈呈

2023年度 事業報告・決算報告

盲導犬育成事業

- 1 視覚障害者への歩行指導と盲導犬貸与**
 - 34頭の盲導犬を育成し、35ユニットの視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬の貸与を実施。内訳は神奈川訓練センター18頭18ユニット、仙台訓練センター9頭9ユニット、日本盲導犬総合センター(=富士ハーネス)4頭5ユニット、島根あさひ訓練センター3頭3ユニット。代替が30ユニット、新規が5ユニット
- 2 犬の飼育及び訓練**
 - 候補犬176頭を訓練し、入所は111頭
 - 新たに雄2頭及び雌10頭を繁殖犬として登録。3月末現在で雄21頭、雌27頭の繁殖犬を保有
 - 子犬93頭を確保
 - 96頭をパピーウォーカーに委託
 - 訓練センターでのパピーレクチャーは164日、223回実施
 - 島根あさひ盲導犬パピープロジェクトは3頭実施
 - 45頭45ユニットの盲導犬が引退あるいはユニットを解消
 - 神奈川訓練センターの医療繁殖棟の新築工事に着手
- 3 盲導犬ユーザーへのフォローアップ(FU)**
 - 定期FUを271回実施。問題解決、健康相談などの非定期FUを197回実施
 - 出発式を4拠点で開催
- 4 盲導犬訓練技術の向上**
 - より質の高い訓練士養成を目的に訓練士資格の新制度開始
- 5 各種研修会等への参加**
 - 全国盲導犬施設連合会主催の研修会他、各種研修会に積極的に参加
- 6 犬舎・施設改修整備**
 - 神奈川訓練センター犬舎改築に着手。2024年度末に完成見込み

- 盲導犬歩行指導員等育成事業**
 - 全国盲導犬施設連合会認定資格の盲導犬歩行指導員に1名が認定

調査研究事業

- 1 繁殖研究**
- 2 大学との研究協力**
 - 盲導犬の合格率向上、健康改善のため東京大学の研究に継続して協力
 - 東京大学・盲導犬歩行学研究室の遺伝子解析研究にゲノム精製のための血液を提供

視覚障害支援事業

- 1 盲導犬歩行についての理解促進**
 - 盲導犬体験歩行会を73回、ステップアップ体験会歩行会を21回、盲導犬説明会を18回開催
- 2 ユーザーコミュニケーション**
 - 盲導犬ユーザーへのFUとして定期聞き取り調査を実施

- 盲導犬6歳時コミュニケーション会を開催、26ユニットが参加
- 3 視覚障害者在宅生活訓練(白杖歩行訓練等)**
 - 延べ922名に1,432コマの訓練を実施
- 4 視覚障害リハビリテーション相談**
 - 延べ481名に対し552回の相談対応
- 5 短期視覚障害リハビリテーション訓練**
 - 6回実施、17名参加。視覚障害リハビリテーション体験会を2回実施
- 6 視覚障害者キャンプ**
 - スマイルワン仙台で実施、7家族の参加
- 7 関係団体との連携**
 - 盲導犬情報セミナーを当事者向けに5回、行政職員向けに3回開催
 - 大学病院のロービジョン外来に職員を派遣
- 8 各種研修会への参加**
- 9 生活講習会の開催**
 - 当事者向け鉄道利用講習会や、支援者向け視覚障害支援に関する講習会を開催
- 10 視覚障害者向けに「パートナーズ」と「盲導犬ユーザー通信」を発行**
- 11 視覚障害リハビリテーション事業に関する規程の運用開始**
- 12 盲導犬健康診断費用一部協会補助制度を開始**

広報・普及推進事業

- 1 事業者向け理解促進活動**
 - 覚障害者サポート・盲導犬受け入れセミナーを170回、首長訪問を7回実施
 - 盲導犬ユーザーから受け入れ拒否の相談を受け60件に対応
- 2 一般市民向け理解促進活動**
 - 盲導犬や補助犬法の理解促進のための実演
 - 講演を288回、企業・団体への感謝状等贈呈式は86回、商業施設活動を78回、街頭での理解促進活動を126回実施(センテーション)を8回実施
- 3 教育機関向け理解促進活動**
 - 若年層への教育活動として、盲導犬小中学校キャラバンを323回実施
- 4 広報活動**
 - メディアリリースを27回配信。メディア掲載回数は1,107回
 - 会報誌『盲導犬くらぶ』を年4回、計179,423部発行、音声CD版1,248部を発行
 - SNS、ブログ、ホームページを運営
 - 盲導犬や視覚障害の理解に関する実態調査を実施

国際事業

- 1 海外補助犬使用者期間限定証明書の発行**
- 2 国際的な協力関係**
 - 職員が国際盲導犬連盟(IGDF)の理事、査察員、教育委員を務めた
 - カナダのバンクーバーで開催されたIGDFのカンファレンス及び繁殖ワークショップへ役員9名派遣
- 3 アメリカのフリーダム盲導犬協会へ職員1名を研修派遣**

2023年度決算 (単位:円)

科目	2023年度	前年度
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産等運用益	32,651,238	15,638,165
受取会費	255,165,911	266,150,609
事業収益	34,573,350	34,250,796
受取補助金等	15,811,419	17,708,087
受取寄付金	706,134,925	580,241,705
雑収益	141,555	344,053
指定正味財産からの振替額	342,451,175	309,445,274
経常収益計	1,386,929,573	1,223,778,689
(2) 経常費用		
盲導犬育成事業費	498,045,778	484,189,754
盲導犬歩行指導員等育成事業費	31,107,795	4,517,777
調査研究事業費	23,278,386	23,123,730
視覚障害支援事業費	87,944,883	74,788,590
広報・普及推進事業費	215,946,973	176,899,746
国際事業費	18,396,767	2,326,565
訓練センター管理費	161,243,627	158,517,825
事業共通費(減価償却費等)	73,746,173	66,661,905
公益目的事業費計	1,109,710,382	991,025,892
法人管理費	277,219,191	232,491,974
経常費用計	1,386,929,573	1,223,517,866
当期経常増減額	0	260,823
2 経常外増減の部		
当期経常外増減額	18,263,752	△9,431,874
当期一般正味財産増減額	18,263,752	△9,171,051
一般正味財産期首残高	3,107,420,472	3,116,591,523
一般正味財産期末残高	3,125,684,224	3,107,420,472
II 指定正味財産増減の部		
基本財産等運用益	1,464,184	194,261
受取寄付金	1,114,865,369	1,028,299,874
特定資産評価損益	19,438,154	3,688,800
一般正味財産への振替額	△342,451,175	△309,445,274
当期指定正味財産増減額	793,316,532	722,737,661
指定正味財産期首残高	6,418,892,717	5,696,155,056
指定正味財産期末残高	7,212,209,249	6,418,892,717
III 正味財産期末残高	10,337,893,473	9,526,313,189

関係団体協力事業

- 日本盲導犬協会ユーザーの会、ボランティア委員会への協力
- 全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク等への協力
- 日本介助犬協会、視覚障害リハビリテーション協会等への協力

その他

- 1 中長期計画の推進**
 - 広島訓練センター(仮称)建設用地を広島市南区に確保
 - 東京大学との5年間の盲導犬歩行学研究活動を修了
 - コミュニティセンター構想として、慶應義塾大学病院内での視覚障害者向け中間型アウトリーチ支援及び共同研究の実施へ向け準備
- 2 人材育成**
 - 職員研究発表大会を開催。獣医療研修に獣医療関係職員2名が参加。愛玩動物看護師国家資格に2名合格
- 3 災害支援**
 - 能登半島地震における日本盲人福祉委員会主催の視覚障害者支援活動に職員2名を災害支援員として派遣
- 4 協会ICTインフラの整備、デジタル化事業等**
 - 業務システムに関し、再構築とホームページとの連携の改善を実施

生まれました

2024.4.2 誕生



オス3頭
メス2頭
父犬ユーボー(LR)×
母犬キアラ(LR)

2024.4.7 誕生



オス1頭
メス4頭
父犬ベイリー(LR)×
母犬オブティ(LR)

2024.6.8 誕生



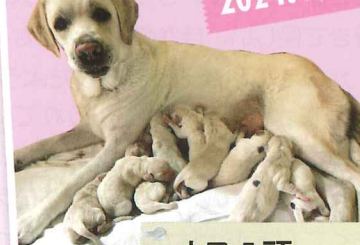
オス1頭
メス5頭
父犬ジープ(東日本盲導犬)×
母犬サラ(LR)

2024.5.26 誕生



オス2頭
メス5頭
父犬マルセル(LR)×
母犬グロリア(LR)

2024.4.18 誕生



オス5頭
メス4頭
父犬オアシス(九州盲導犬)×
母犬ディミー(LR)

みなさんに 支えられて

3月11日~6月10日

犬種記号
LR/ラブラドル・レトリバー
GR/ゴールデン・レトリバー

引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
レイ♂	石田 聡さん	島津 信行さん	2024.3.24
ダリー♀	漢 小百合さん	古賀 隆さん	2024.4.11
スミレ♀	吉山 幸美さん	川合 きよみさん	2024.4.15
ベアチェル♀	浅野 麻里さん	加藤 美恵さん	2024.4.15
フィーナ♀	伊藤 洋美さん	大武 秀紀さん	2024.4.22
ドリーム♀	赤塚 セツさん	野村 美枝子さん	2024.5.5
ベギー♀	渡辺 あい子さん	調整中	2024.5.9
ウィキ♂	三輪 孝雄さん	吉澤 達也さん	2024.5.20
ハートン♂	西塚 敏也さん	長沼 億博さん	2024.5.20
パロン♂	押野 まゆさん	鈴木 あかねさん	2024.5.20
デニス♂	久保田 壮さん	高杉 由華さん	2024.5.31
ジェームス♂	福田 進久さん	調整中	2024.6.3
クラリス♀	村上 隆さん	調整中	2024.6.6

亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
イージー♂	酒井 正信さん	柴田 哲子さん	2024.4.2
クイニー♂	阿部 慶太さん	福田 信宏さん	2024.4.2
キャティー♀	佐藤 智江子さん	長谷川 晴喜さん	2024.4.9
ビップ♂	小野 良丈さん	貞廣 孟史さん	2024.4.19
ダイアナ♀	浅井 詢也さん	田邊 光明さん	2024.4.27
コナ♂	大関 陽子さん	桜庭 恵さん	2024.5.5
ベル♀	繁殖引退犬	植原 功弥さん	2024.5.9
ディアン♀	繁殖引退犬	高橋 幸子さん	2024.5.10
イーサン♂	今村 法子さん	-	2024.5.11
ナミ♀	繁殖引退犬	高木 昇さん	2024.6.3
エクルス♂	金子 聡さん	坂田 省吾さん	2024.6.10

委託しました

父犬ワトソン(北海道盲導犬)× 母犬ナツ(北海道盲導犬)	父犬アーロン(北海道盲導犬)× 母犬ライム(北海道盲導犬)
グレッグ♂ 土屋 真理さん	デン♂ 森重 大作さん
父犬チャド(LR)×母犬シェリー(LR)	デルタ♂ 鶴田 佐知子さん
エレン♀ 川野 みずほさん	父犬ユーボー(LR)×母犬キアラ(LR)
エルゴ♂ 丹羽 啓子さん	フィン♂ 島村 一秋さん
エトレ♂ 桑木 聡さん	ファンシー♀ 矢島 乃里子さん
エメ♀ 横井 明子さん	ファイン♂ 吉田 孝雄さん
エルシー♀ 本堂 秀隆さん	フレッシュ♀ 土田 恵美子さん
父犬クルト(LR)×母犬エステイ(LR)	フウ♂ 吉田 敏之さん
コナー♂ 中村 豊さん	父犬ベイリー(LR)×母犬オブティ(LR)
コーディ♂ 木下 裕之さん	ハグ♂ 川喜田 一広さん
クオレ♂ 小林 竜二さん	ホヌ♀ 遠藤 研介さん
クーガー♂ 小林 由紀さん	ヘレナ♀ 鈴木 雅子さん
コスモ♂ 菊谷 嘉之さん	ホップ♀ 高橋 由香里さん
チェイス♂ 溝口 孝昭さん	ハオ♀ 赤岡 明さん

盲導犬育成状況

合計頭数...698頭(2024年7月4日現在)

委託前パピー	13頭	繁殖犬	47頭
パピー	79頭	PR犬	13頭
訓練犬	75頭	引退犬	177頭
盲導犬	230頭	繁殖引退犬	64頭

みなさんと協会をつなぐ

ハーネスひろば

みなさんから届いたメッセージや協会からのお知らせなどを紹介します

私が小学3年生のときに、我が家は引退犬飼育ボランティアで10歳のラブラドル・レトリバーを迎えました。それまでの私は盲導犬を特別視していました。しっかりしていて、なんでもできて、すごい犬なんだと。もちろん、訓練を受けているので普通の犬ではできないことができます。しかし、盲導犬は特別な犬ではありません。人間が大好きで優しい、ほかの犬と大きな違いはないのだと知りました。

かつての私がそうであったように、視覚障害を持つかたや盲導犬についてはまだまだよく知られていないと感じています。だからこそ、多くの人に盲導犬のリアルを伝えたくて「『盲導犬はかわいそう』について考える」という小論文を書きました。

今は2代目の引退犬、ラスクと幸せに暮らしています。いつも笑顔のラスク。ラスクの目に映るのは、きっと愛に満ちた美しい世界です。

誰にとっても温かい社会でありますように。

東京都 佐伯理奈さんより



↑佐伯さんと引退犬ラスク

編集室より

このお便りに登場した小論文が、旺文社主催「第67回全国学芸サイエンスコンクール」の作文/小論文部門高校生の一部で慶應義塾長賞を受賞しました。今回の受賞で“多くの人に盲導犬のリアルを伝えたい”という願いを一層広く叶えることとなった佐伯さん。編集部から拍手を贈りたいと思います。

『盲導犬くらぶ』の感想やご意見をお待ちしております。

●あて先 公益財団法人日本盲導犬協会 盲導犬くらぶ編集室
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
FAX:03-5452-1267 e-mail: info@moudouken.net

受賞作は
こちらから
(12月31日まで)



飼育ボランティア募集のお知らせ

盲導犬候補の子犬、盲導犬の親犬、盲導犬を引退した犬、盲導犬には向かないと判断された犬(キャリアチェンジ犬)を、家庭犬として飼育していただくボランティアを募集しています。興味がある方はHPをご確認ください。

詳細は
こちらから →



表紙の写真

盲導犬に向いているかどうか、適性を見極める「犬の評価」の一コマです。写真は左からユーザー役の職員、安全を確保する職員、撮影・記録を行う職員が数名。必ずこのようにチームを組んで行います。全員が訓練士とケネル(犬舎で犬の管理を行う)職員で、活発に意見を交わしながら評価制度「TP」(Task Performance)に沿って30項目以上を評価します。

→「犬の評価」の別シーン。3回行い、各項目を点数化していきます



無理なく、続けられる

ナチュラープラス®

The Global Healthcare Company

私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。



株式会社 ナチュラープラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.com>



Know today. Power tomorrow

株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ
<http://www.intage.co.jp/>



キューモニター募集
<https://www.cue-monitor.jp/>